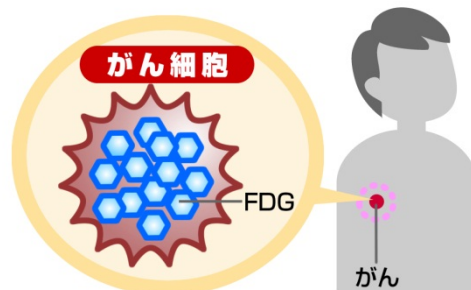


FDG PET-CT 検査説明書

① 検査のあらまし、効果について

この検査では ^{18}F フルデオキシグルコース（FDG と略）という薬（以下 FDG）を注射し、体中のグルコース（ブドウ糖）代謝の状態を、PET-CT 装置で画像化して診断します。FDG はグルコースによく似た化学構造をしているため、静脈注射するとグルコース代謝の盛んな領域（脳・心臓などの正常臓器の他、腫瘍や炎症などの病巣）に集まる性質があります。この薬は、 ^{18}F （フッ素 18）という放射性同位元素で標識されているため、薬が集まったところから放射線が放出されます。この放射線を PET-CT 装置で検出し、コンピュータで機能画像をつくることができます。



② 検査前の注意事項（重要）

食事・飲物などの影響を避け、糖の代謝状態を正しく診断するために、検査前に5時間は絶食してください。ジュースなどの砂糖の入った飲物や菓子などを飲食しないでください。なお、緑茶、ウーロン茶、水などは飲んで結構です。前日の激しい運動は筋肉に FDG が取り込まれてしまい、診断の妨げとなることがあります。当日の他の検査や診察の予約は入れないでいただき、仕事などの予定もなるべく入れないようにお願いします。検査に使う薬剤は短時間で使用できなくなるお薬ですので、くれぐれも検査予定時刻に遅れないように検査室においでください。予約日時の都合が悪くなった場合、土日祝日を除く前日の15時までご連絡ください。当日のキャンセルは努めて無いようにお願いします。

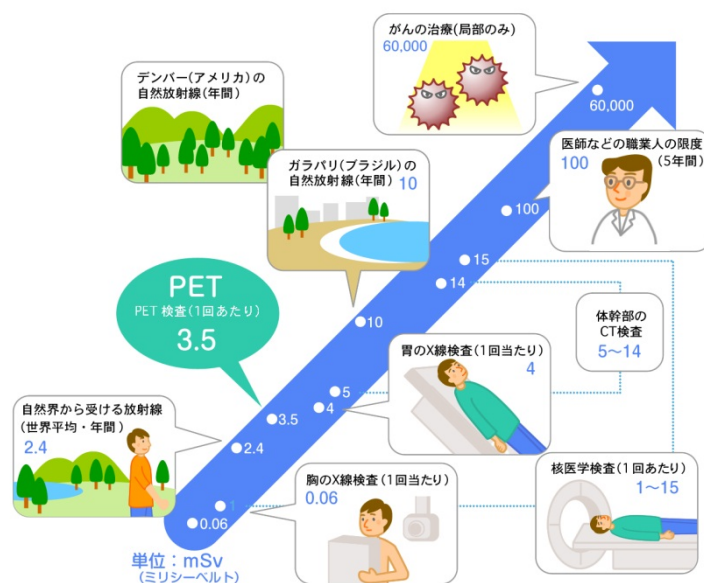
③ 検査方法（詳しくは担当者に直接お聞き下さい。）

採血し血糖値を測定してから、FDG を静脈注射します。そして、筋肉のブドウ糖消費をできるだけ低くするために、注射後は約1時間安静にしてください。PET 診療では一般的に安全確認とスタッフの被ばく低減の目的で、カメラにて患者様の状態を確認します。当院でも同様に待機室上部のカメラにて状態を確認していますのでご了承ください。待機室では音楽を聴くことは構いませんが、なるべく会話は控えてください（頭頸部付近の筋肉の集積を抑えるため）。この薬は尿に排泄されるため、注射前後に積極的に飲水をお願いします。（透析療法などで、水分制限のある方は検査当日申し出てください。）検査室に入る前にトイレで排尿してください。（飛散防止のため、座って排尿をお願いします。）その後、検査室に入り PET-CT 装置の検査台に横になっていただき、約25分間撮像します。検査の目的によってはさらに約20分間安静にしていいただき、もう一度撮像します。順調に検査が進めば検査時間は約2時間半程度です。

④ 予想される危険性・副作用について

この検査では、 ^{18}F -FDG という放射性医薬品を注射しますが、その量はわずかです。（成人で 5mCi（185MBq）程度）。 ^{18}F は半減期が約 110 分と大変短く、放射能は時間とともに、加速的に無くなります。この検査による放射線被ばくの影響は、バリウムを飲んで行う胃の X 線検査よりも少なく、私たちが一年間に自然環境と食物から受ける被ばく（＝自然放射線による被ばく）の 2 倍程度です。

この検査は専門の医師により綿密な注意の下に行われますが、万が一何か体の異常や気分の変化があれば直ちに適切な処置が行われますので、遠慮なく申し出てください。



⑤ 検査室退出に当たっての注意事項

- ・ 病院から速やかに自宅まで帰るようにし、なるべく公共の交通機関は使わず、人が大勢いる場所にはなるべく寄らないようにしてください。
- ・ 検査後最低 1 2 時間は妊婦や乳幼児と触れ合う時間を短くし、またその際はできるだけ距離を取るようになってください。
- ・ 授乳中の方は 2 日間以上あけて授乳してください。

⑥ 介護の方やご家族の方への注意事項

患者様の介護のために検査室に入る場合は、担当のスタッフの指示・指導に従ってください。また、PET 診療を受けた患者様との接触時間をなるべく短くするようにしてください。

当院の FDG PET-CT 検査に関する事で質問やご不明な点などがありましたら下記までご連絡ください。（8：30～17：00 土日祝日を除く）

この冊子は、下記のホームページからダウンロードできます。

URL : <http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp/iryoukikan/shinryou-yoyaku/yoyaku-iryou.html>

国保直営総合病院 君津中央病院 PET・RI 検査室
Tel0438-36-1071 (内線 3702)